

道連ニュース

2013年1月号 No.79

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

行政・元売へ大学生協連と要請行動を実施

～「灯油問題対策本部」が設置されました～

12月27日、年明け100円台突入の可能性があり「異常」価格との認識に至り、灯油対策委員会（＝委員長：伊東道学校生協理事）が再開されました。年始からの対策本部による記者会見・要請行動を確認しました。

1月8日の記者会見では①昨年来の取り組み経過②「異常」価格の背景と道連の主張＝安定供給の各論も③今後の要請行動（消費者庁など中央も）を表明した。

対策本部としての要請先と対応結果は以下です。
経産局～2月初旬に臨時意見交換会②道副知事（9日）知事会見（10日）道3部（11日）～条例指定物資であり、月次から週次に調査頻度増へ③札幌市～再び元売要請も④石油連盟・元売2社～スポット価格連動の正当性を主張するも論理破綻⑤道石油業協同組合連合会～今後の協調を確認しました。

依然として「円安」による海外での原油価格上昇を理由（＝日本への到着は2ヶ月後！）とした、「不当」値上げ傾向に変化はありません。業界決算の上方修正が伝えられるだけに、2月に向けて更なる要請行動など対策委員会での検討・注視が必要です。



1月8日、「灯油問題緊急対策本部」再開記者会見をする前川本部長（道連専務理事）、中島副本部長（コープさっぽろ常務理事）

道連見直し委・中間報告や上期監事監査報告などを審議

～第4回理事会が開催されました～

1月17日生活クラブ生協の二川専務の議事進行で開催されました。議決事項では①福祉活動交流会②業務委託契約の更新③専門委員及び委員会設置④役員選任⑤5月理事会に宮城県連齋藤会長の招待を確認しました。

審議事項では①上期監事監査報告②今冬の灯油対応

③道連活動見直し検討委員会・中間報告④活動まとめと計画などについて議論されました。

尚、理事会終了後には並行して開催されていた全道学校生協ブロック役員会参加者を含めて在札拡大役員懇親会が開催されました。

映画「幸せの経済学」上映会&トークショーのお知らせ

主催：TPPを考える市民の会
ビッグイシューさっぽろ

日時：2月3日(日)会場：かでの2.7 520研修室（札幌市中央区北2条西7丁目）

参加費：1000円（1部、2部通しの場合+500円）

第1部（13:30～16:00）

トークショー「検証、TPPとわたしたちの暮らし」

第2部（17:00～19:30）

トークショー「誰もが希望を持てる社会へ～貧困と社会的排除を超えて」

申し込み・問い合わせ 090-2818-5502(大熊) 080-4040-1914(平田)

「『懐かしい未来』を作ろう～ヘレナ監督からのメッセージ」

ヘレナ監督のメッセージをノーカットで上映します

日時：2月23日(土)13:30～

場所：コープさっぽろ北12条店2階会議室（札幌市北区北12条西1丁目）

「市民後見人」学習会アンケート結果まとまる！

昨年12月12日に開催しました市民後見人学習会には、最終的に14団体53名の参加がありました。生協以外からは7団体17名の参加があり、市民後見人問題への関心の広がりを感じました。

参加者よりアンケートを取り、34名の人から回答が寄せられました。主な内容は①市民後見人制度の内容理解が進んだ②取り組み意義について共感が進んだ③組織的にも個人的にもハードルの高さを一様に感じている④成功に向けて行政組織との連携とバックアップ⑤また弁護士・司法書士・社会福祉士など専門家集団とのネットワークと支援体制づくりが大切などの声が寄せられました。今年に入り参加団体からのヒアリングを進めています。組織として市民後見人について討議

を進めている団体はいまのところありませんが、寄せられたご意見のポイントは、①「市民後見人養成講座」は事業として出来るだけ早く開始して欲しい、各団体からは幹部職員をはじめ該当部局職員の養成講座を受講させる用意があること②「活動センター」構想は、高齢者福祉生協や「社会福祉法人ほくろう」のように、高齢者を対象とする事業を展開しているところは、身近で・切実な問題として受け止められています③それ以外の団体も参画の仕方は今後の検討課題だが、今後の高齢化の進行と認知症発症率の推移（15年後全国で400万人以上の患者数を予想、65歳以上で十人に一人の割合）を考えると、生協陣営としてぜひ取り組むべき課題との認識になっていることが寄せられています。

北海道住宅生協 『新築住宅 完成見学会』を開催！

2012年最後の新築住宅2棟が竣工を迎え、12月16日に札幌市厚別区と岩見沢市において住宅生協新築住宅完成見学会を同時開催しました。

前日からあいにくの雪模様で、職員総出で早朝から除雪作業などを行い来客準備を整えました。

今回新築された施主様のこだわりの設計ポイントは、《2階に広々ワンルームタイプのLDK》、《インナーテラス》、《雨の日・冬でも安心の洗濯物干しを兼ねたフリールーム》などです。

当日、道路状況が悪いにもかかわらず「定年間近で住み替えを検討されているご夫婦」や「親子二世帯同居を検討されているファミリーとそのご両親」など、

来春住宅生協で新築を予定されておられる方も含め数多くの方々にご来場いただきました。

見学したお客様からは、「施主様のこだわりや細かな注文を上手に住宅に取り入れている」、「あったかい家ですね」、「注文住宅の良さを実感した」などの声が寄せられております。

これからも「質の高い住生活」の実現を目指し、生協の職員が皆様をサポートして行きます。



全道学校生協ブロック役員会開催

1月17日(木)午後3時より北海道生協連の理事会・拡大役員新年会に合わせて、全道学校生協ブロック役員会が上川地区学校生協・網走四地区学校生協・北海道学校生協・日生協学協支所・NJC日本事務機(株)出席のもと開催されました。最初に学協部会報告として「下請法、独占禁止法」と「第17次中計」について、日生協学協支所鈴木支所長より報告、次に北海道学校生



協が導入を進めている、新システムの状況についてと、それに伴う上川学校生協、網走学校生協との連携処理についてNJC日本事務機(株)鹿兒島営業所長・川崎市より報告、次に、役職員教育の充実をを図る為に日生協通信教育を共通の教材として、受講料の一部をブロック協議会として補助することの提案がされた。

最後に、現在それぞれが進めている事業について交流報告された。それぞれの議題について、活発な議論が行われました。今後も、定期的開催し交流することが必要であることが確認され、午後4時30分閉会しました。

..... 地方消費者グループフォーラム開催のお知らせ

安全・安心な消費生活の実現、消費者及び生活者が主役となる社会の実現に向けて、「消費者」の観点からそれぞれの分野で諸問題に取り組む多様な主体の一層の交流と連携を促進するため、「持続可能な社会のために私たちに出来ること～安心して住み続けるために～」をテーマに地方消費者グループ・フォーラムを開催いたします。

フォーラムは2部形式で、I部は静岡大学教授、色川卓男氏の講演会「地域で育てる消費者教育」、II部は地域における団体・自治体による取組報告と分科会を予定しており、会場内には団体及び自治体の活動紹介のパネル展示も行われます。多くの方の参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

◆日時◆ 平成25年2月15日(金)
午前10時～午後3時50分

◆会場◆ 北海道建設会館 9階大ホール
(札幌市中央区北4条西3丁目)

◆申込方法◆ 「2月15日グループフォーラム参加申込」と氏名、所属団体名、電話番号、参加希望分科会(①地域で産み・育てる食 ②地域で産み・育てるエネルギー ③地域で産み・育てるくらし支援)を明記してFAXまたはEメールで送信して下さい。(I・II部どちらかのみ参加も可能)

◆申込宛先◆ Eメール: service-js@jpc-net.jp FAX: 03-3409-1187

※お問い合わせ先: 日本生産性本部 古川 03-3409-1189